

広報 なよろ

表紙	1
もくじ	2
市政執行方針	2 - 3
教育執行方針	4 - 5
平成30年度予算 - 肉づけ予算 -	6 - 7
フォトでお知らせ - 広報版 -	8 - 9
国民健康保険のお知らせ	10 - 11
後期高齢者医療制度のお知らせ	12
介護保険制度のお知らせ	13
名寄の夏イベント	14 - 15
名寄市避難訓練・防災セミナー開催	16
健康ガイド	17
名寄市立大学の窓から ～知への誘い～	18
声 - Voice -	19
男女共同参画社会の実現をめざして 今月の手話	20
消費生活センター通信 テレビ視聴に関する重要なお知らせ	21
健やかな成長を願って タッチケアサロン など	22
もっともち米プロジェクト なよろっばい家づくりの会	23
EN-RAYホールイベント情報 天塩川だより	24
施設のお知らせ	25 - 27
暮らしのお知らせ	28 - 31
裏表紙	32

市政 執行方針

市政推進の 基本的な考え方

このたびの選挙で無投票という結果で引き続き市政を担わせていただくこととなりました。

市長就任以来、民間出身としての視点や発想、人脈、そして行動力を活かしたトップセールスと市民との協働により、地域の財産を磨き、市内外への情報発信に努めるとともに、市民の満足度の向上、明るく元気なまちづくりに向けて、全力を傾けてきました。

今後も、総合計画を政策の基本としながら、市民が主体のまちづくりを進めていきたいと考えています。



将来を見据えた調和のあるまちづくりを

6月4日に開会された平成30年第2回名寄市議会定例会において、加藤市長が市政運営の方針について、小野教育長が教育行政運営の方針について述べました。(本紙には概要を掲載します)

我が国では、人口減少や高齢化の進展により社会保障関連経費は引き続き増加すると見込まれる中、平成30年度の地方財政計画では、地方交付税において出口ベースで前年度比マイナス22パーセント、3213億円の減少としており、地方自治体の財政は今後も厳しい状況が続くと想定されます。

このような情勢のもと、5月に行った第1回臨時会における所信表明において、総合計画の基本理念である「人づくり」「暮らしづくり」「元気づくり」の三つの理念を基本とし、市政の発展に全力を傾注していきたいとお話ししました。

人口減少、少子高齢化が押し寄せる厳しい時代を乗り越えていくため、将来を見据えて、健全な財政運営を基調に、基礎自治体として調和のあるまちづくりを進めるため、総合計画を政策の基本としながら、効果的、効率的な市政運営に努めるとともに、魅力あるこの地域が発展していけるよう、議員各位をはじめ、多くの市民の皆さまとともにまちづくりを進めたいと考えていますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

主な取り組み



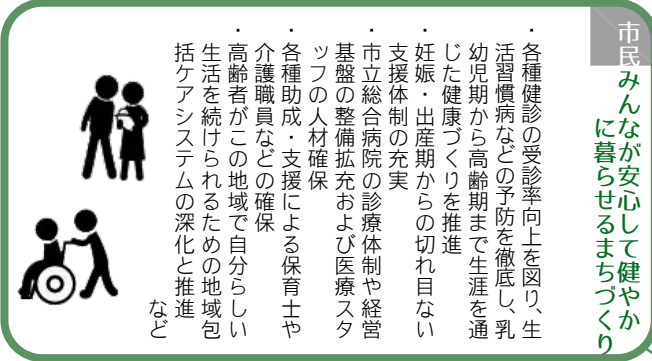
まちづくり懇談会

市民と行政との協働
によるまちづくり

- ・「名寄市パブリック・コメント手続条例」に基づき、関係機関が協力しながら「市民主体のまちづくり」を推進
- ・審議会での議論や広く市民の声を取り入れながら、名寄市総合計画（第2次）中期計画の策定
- ・官民が連携して冬季スポーツの拠点化を図り交流人口の拡大
- ・市立大学において、卒業生の地元定着化やリカレント教育を充実し、地域における人材育成・確保
- ・町内会の活動や活動拠点となる会館の整備の支援



など



市民みんなが安心して健やか
に暮らせるまちづくり

- ・各種健診の受診率向上を図り、生活習慣病などの予防を徹底し、乳幼児期から高齢期まで生涯を通じた健康づくりを推進
- ・妊娠・出産期からの切れ目ない支援体制の充実
- ・市立総合病院の診療体制や経営基盤の整備拡充および医療スタッフの人材確保
- ・各種助成・支援による保育士や介護職員などの確保
- ・高齢者がこの地域で自分らしい生活を続けられるための地域包括ケアシステムの深化と推進



など



ちえぶん健康まつり

自然と調和した環境にやさしく
快適で安全安心なまちづくり

- ・ごみの発生抑制と減量や資源化を図り、環境への負荷が少ない循環型社会の形成
- ・専門化・高度化している救急業務に対応する救急隊員の資質向上やドクターヘリやドクターカー、医療機関と連携した出動体制の構築
- ・近年、激化する自然災害に備え、住民の防災意識の高揚を図り、自主防災組織の設立や防災リーダーの育成
- ・市内全域の空家の実態把握に努め、適正管理の促進や情報提供、助言を行う相談体制の整備検討



など



課題を見つける避難訓練

地域の特性を活かしたにぎわいと
活力のあるまちづくり

- ・ICTなどの新たな栽培技術の導入試験や振興作物における新品種の栽培試験など、その情報提供や技術普及を推進
- ・農業に関して豊富な知識と経験を有する集落支援員を配置し、研修や体験を含めた支援体制強化
- ・安全・安心な農畜産物の生産を行うため、第3者による生産工程管理を認証する制度（GAP）の理解の深化
- ・中小企業の経営基盤強化の支援および、中小企業者の主体的な取り組みによる地域経済を牽引する事業者への支援



など



新規就農者等交流会

生きる力と豊かな文化を
育むまちづくり

- ・市立大学における将来構想の検証および、教育研究や学生支援、社会連携・社会貢献など改善向上の取り組みを推進
- ・市内関係機関の機能を生かしてジュニア選手が育成できる環境を整備
- ・将来的な冬季版ナショナルトレーニングセンターの誘致



など



ジュニアスリート医学サポート